

平成26年度内閣府 地震・津波防災訓練 【和歌山県広川町】

実施報告書
(概要版)

実施概要

和歌山県広川町について

広川町(ひろがわちょう)は、和歌山県の中心に位置し、有田郡の最南端にあり、町の中央には広川が流れ、紀伊水道に注いでいます。広川町の人口は約7,600人ですが、その2/3にあたる約5,000人が海岸沿いで生活をしています。



広川町では、毎年恒例の津浪祭を行っています。これは、町内の平穏無事と過去の津波により犠牲になった人々の冥福を祈るとともに、住民の生命と財産を津波から守るため私財を投げ打って大堤防を築いた濱口梧陵らの偉業に感謝し、伝承するものです。このように津波防災の日が制定された経緯と最も深くかかわっているのが広川町であり、まさに、津波防災発祥の地ともいえる土地柄です。

参照: 広川町ホームページ

訓練概要

■ 訓練想定: 11月の平日10時15分に、南海トラフを震源とするM8.0の大規模な地震が発生し、広川町内では震度6弱を記録。地震発生直後より、大津波警報が発表され、広川町は、ただちに災害対策本部を設置するとともに、住民に対して、防災行政無線等により津波からの避難を呼びかけた。

■ 日 時: 平成26年11月5日(水) 10:00~12:15

情報伝達訓練	10:00~10:17
シェイクアウト訓練	10:15~10:16
津波避難訓練	10:17~10:40
物資配給訓練 (炊き出し訓練含む)	10:40~11:00
講演会	11:15~12:15

■ 実施体制: 主催/内閣府、和歌山県、広川町

■ 参加者: 約1,300名

〔 住民、なかよし子ども園、ポッポ保育園、広小学校、広小学校西広分校、
耐久中学校、津木中学校、たちばな支援学校、広川苑等 〕

訓練報告

当日の訓練内容

10:15～ シェイクアウト訓練

町内全域に参加を呼びかけ、防災行政無線の放送を合図に町内一斉訓練としてシェイクアウト訓練を実施。およそ町の人口の17%にあたる1,300人が参加した。(日本シェイクアウト提唱会議の認定を受けて実施)

▼なかよし子ども園



▼広小学校



10:17～ 津波避難訓練

防災行政無線のサイレンを合図に、生徒・児童・園児・住民が津波避難場所である広八幡神社及び、たちばな支援学校第2駐車場等まで避難し、津波到達時刻の前に余裕をもって避難を完了できた。

▼全力で走って避難



▼手を取り合って避難



10:40～ 物資配給訓練

津波避難場所(広八幡神社及びたちばな支援学校等)において、広川町職員から、物資(啓発用防災用品)を配給。この際、避難時に個人の備蓄物資を携行することの重要性を町職員が説明した。

▼園児の配給受け



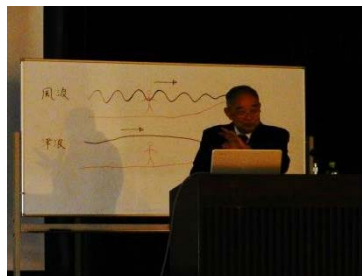
▼上級生による物資配給



11:15～ 講演会

「稲むらの火と広村堤防」の著者である津村建四朗先生を講師に招き、『ふたつの稲むらの火』と題した講演会を実施。耐久・津木中学校生徒及び地域住民の方々約300名が熱心に聞き入った。

▼津村先生による講演



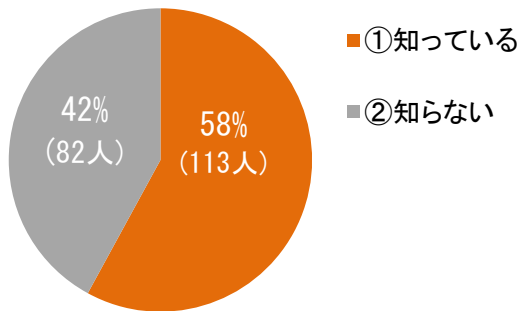
今後に向けた課題

アンケート結果

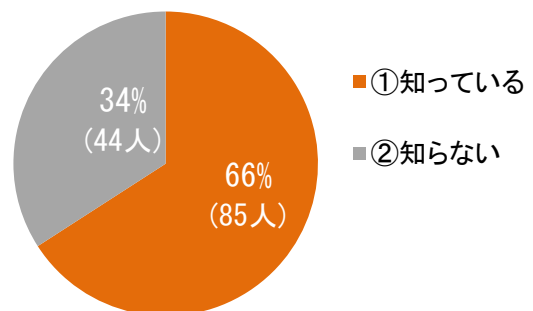
児童・生徒の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？

▼中学生（196人）

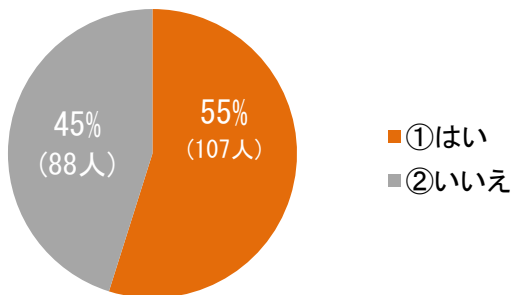


▼小学生（130人）

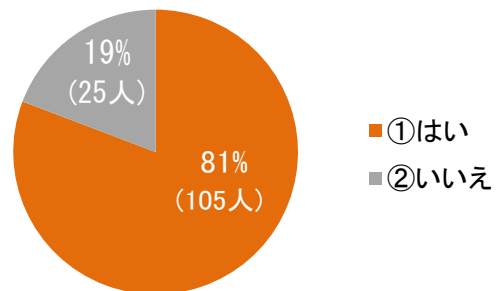


問 広川町ハザードマップを見たことがありますか？

▼中学生（196人）



▼小学生（130人）



訓練の評価・課題等

訓練当日は晴天に恵まれ、児童、生徒、園児や地域の住民等を合わせて約1,300名の参加者があり、終始熱心かつ真剣に訓練に取り組んでいた。

訓練実施後、町の教育委員会も協力して中学校、小学校の特性を踏まえたアンケートを作成して実施し、関係した職員等による所見及びアンケート結果等の分析を行い、今後の防災対策や防災訓練の参考となるよう、「課題と対策案」として整理した。この結果、危険個所の横断時の職員による誘導は適切で、避難場所到着後の点呼による人員確認も迅速に行われ、迅速適切な避難行動だったという評価の一方で、次のような課題が指摘された。

- 広八幡神社は、町の中央部に位置し、誰もが認識している避難場所となっているが、通じる道路が1本に限定され、迂回も困難なことから全住民が避難して混雑した場合の対策を練っておく必要がある。
- 今回は健常者の避難をメインに捉えて実施したが、脚を怪我している者、脚の不自由な者、高齢者等はどうすればいいのかという問題点があり、これら要支援者の避難施設や避難道の整備及び避難支援体制の構築を進めていく必要がある。